

平成 26 年 5 月 1 日

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

病害虫防除技術情報（第 1 号）について（送付）

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしくお願
いたします。

記

- 1 情報の内容 愛媛県内のかんきつ類の灰色かび病菌における QoI 剤耐性菌の発生と対策について
- 2 情報の根拠
 - (1) 近年、県内のかんきつ類の灰色かび病の防除を目的とする一部の現地試験において、QoI 剤（ストロビルリン系殺菌剤）の防除効果が低下している事例が認められている。
 - (2) 平成 25 年 4～5 月にかけて、県下主要農協管内のかんきつ園より灰色かび病の発病花卉を採集し農林水産研究所果樹研究センターで QoI 剤の一種であるクレソキシムメチル剤に対する感受性を検定（薬剤添加培地の利用）した結果、耐性菌（有効成分 100ppm の薬剤添加培地上で菌糸生育）の発生が確認された。
 - (3) 本耐性菌は、採取した灰色かび病菌 110 菌株のうち 12 菌株で確認され、耐性菌率は 10.9%であった。なお、採集地区の違いによる偏りはみられていない。
 - (4) 本系統薬剤に対する耐性菌の発生は県内では初めて確認した。
- 3 今後の対策
 - (1) 現在、県下で広範囲かつ高率に耐性菌が発生している状況ではないが、園地によって防除効果が低下している場合には、他系統の薬剤を使用し、QoI 剤の使用を避ける。
- 4 防除上の留意点
 - (1) 本系統薬剤の防除効果が認められている地域においても、同系統の薬剤の連用を避け、異なる系統の薬剤をローテーション使用することで、耐性菌の発生を未然に防ぐことが重要である。
 - (2) 耕種的防除として、園内が多湿にならないように注意する。